



RUNNER

Vol.19



◆目次◆

今日のRUNNER

- エデュケーションアニマル……2
- 活動の現場……4
- オオコノハズクがやって来た!……6

2013年度活動報告・

- 2014年度活動予定(案) …8
- 足環Project始動!!……11
- インフォメーション……12

今日のRUNNER

第十八走者：エデュケーションアニマル

ここでは保全センターに運び込まれた傷病鳥獣について保護記録やエピソードを交えてご紹介します。

アニマルセラピー

動物と触れ合うことでストレスや精神疾患を軽減させたり精神的な健康を回復させたり生活の質（QOL）を高めるものとして、アニマルセラピーという言葉があります。アニマルセラピーは日本での造語であり、厳密に言うと大きく次の3つに分類されます。

- ・動物介在活動（Animal Assisted Activity）
- ・動物介在教育（Animal Assisted Education）
- ・動物介在療法（Animal Assisted Therapy）

これらの頭文字をとってAAA, AAE, AATなどと呼ばれることもあります。

動物介在療法は動物（犬、馬、イルカなど）を身体・精神障害における補助療法・非薬物療法の一環として取り入れた治療法で、医師や理学・作業療法士と専門的な訓練を受けた動物と飼い主の協力によって行われる治療行為です。そのため、医療の専門家によって治療目的が定められ、経過の記録や治療の評価判定が必要となります。対して、動物介在活動は動物との触れ合いを中心とした活動で、医療の専門家の診断や記録と評価は必要とされず、動物を使用したレクリエーションともいえる活動です。

環境教育活動

野生動物救護の会は神奈川県自然環境保全センターの協力のもと、動物介在活動を含めた、野生動物の救護活動や普及啓発活動を行っています。その普及啓発活動の一環として、2014年1月にタヌキ1頭と鳥類4羽が市立の小学校4年生に向けた環境教育で活躍してくれました。

身近な野生動物の紹介や野生動物の保護の実

態を説明したり、実際に動物と触れ合いながら、野生動物が傷つからないために自分たちにできることについて考えてもらいました。



これらの活動を通して、野生動物やその生息環境への理解、保護原因となる事故の再発防止への考えが浸透することが、傷病鳥獣の減少に繋がります。出張授業に参加した子どもたちの作成した新聞が救護の会に届いたので、そのうちの1つを紹介します。



○図鑑○ NO.18

環境教育で活躍した動物たち

個体番号／種名（名前）／備考

保護日／保護原因

130305 ムクドリ

2013.7.9 巣から落ちる

060403 ツツドリ（ルンバ）

2006.9.26 ガラス窓に衝突，平衡感覚（-）

090617 コミミズク（ロン）

2009.12.18 左翼断翼

130069 チョウゲンボウ（けいすけ）若鳥

2013.4.22 右翼骨折

130252 タヌキ（珊瑚）幼獣，授乳中

2013.6.20 盲目・難聴・起立不能

野生動物が保護される原因として、交通事故、建造物（ガラス）への衝突、釣り針やビニール袋の誤飲、家屋等の解体による巣の破損、飼い猫など飼育動物に襲われるといった、人間の生活と関わる救護原因が数多くあります。

保護の原因を知ることによって事故の再発防止策や保護個体の減少に繋がったり、身近な動物たちのことを知ったり触れ合うことで、環境保全の意義や野生動物の生息環境が抱える問題について考えるきっかけになればよいと思います。

保護動物の転帰

保全センターに保護される動物の中には、本来は保護する必要のない動物（ヒナの誤認保護など）や、飼育過程で命を落としてしまう動物、元氣になって野生復帰する動物、外傷は見られないが野生復帰することのできない動物たちがいます。また、外来種や飼育動物などは、保護動物としての受け入れを断ったり、誤認保護と考えられる場合には親鳥の待つ保護した場所へ帰してもらうことがあります。

成鳥の保護原因である骨折や釣り針の誤飲の場合には野生復帰できる個体も多いですが、建造物への衝突や飼い猫などに襲われて怪我をする場合には、野生復帰が難しい個体が多く見られます。

建造物への衝突では、風景が映り込んだ窓を空が続いていると勘違いして窓ガラスへ衝突してしまいます。その際に、頭を強く打ち付けて、脳震盪を起こしたり、脳神経を損傷して平衡感覚を

失ったりします。一度、神経を損傷してしまうと投薬で回復することもあります。野生復帰することが難しくなります。

また、飼い猫などに襲われると、猫は遊びのつもりでも、鳥たちは骨折や敗血症などの大怪我に繋がります。軽い怪我の場合には治療することで野生復帰できますが、重傷の場合には命を落としたり、野生復帰が難しい場合が出てきます。

治療や世話の甲斐なく命を落としてしまう動物たちは、羽根標本や骨格標本を作成したりと、動物たちの理解や鳥類の種類や羽の部位の同定に役立っています。

命は助かっても野生には帰れない動物たちは、ボランティアの方に面倒を見てもらったり、環境教育を通して保護原因の特定や解消、環境保全の大切さを知ってもらうために活躍しています。

保護された動物たちが元氣に野生復帰できることはもちろんですが、人と動物とが住み良い環境を構築して、保護される動物が減ることを願います。

活動の現場

このコーナーでは普及啓発活動やイベントなどに参加したボランティアがその体験をもとにレポートしています。

酒匂川で探鳥会 報告

12月7日(土)小田原市にある酒匂川で探鳥会をしてきました。朝のラジオでは昨日より3・4℃低く寒いと言っていたけれども、晴れてくれたおかげと風が無かったこともあり、気持ちよく鳥見することができました。寒さ対策していたから逆に暑かったなあ。

開始早々、タヒバリ、イカルチドリ、イソシギが迎えてくれました。ひとりで探鳥すると「あなた誰ですか??」になってしまうのですが、今日は先生がいっぱい!!図鑑と戦うことなくじっくりと鳥見することができました。足環つけている子がいないかな～なんて思いながら河口へと歩いていくと、カワウが多いこと多いこと…また意外にもオオバンが多かったです。コガモやマガモ、ヒドリガモなどの冬の水鳥を観察できました。が、小鳥類や猛禽類には全然出会えず…物足りなさを感じていると次はしらさぎ広場に行くと言うじゃありませんか!!やったねww しらさぎ広場の横には狩川が流れており、ここにはカワアイサがいるとのこと。探しているとオスとメス三羽ずつ出会うことができました。借りたフィールドスコープで水の中に潜って泳ぐ姿も見ることができました。それにしてもファンキーだねえ。河口のほうではカモ類とカモメ類の群集がいました。カモの混群を確認中、上空をチョウゲンボウ。オオセグロカモメとセグロカモメの確認をしていると次はミサゴ2羽発見!!ミサゴの一羽は頭上を通ってくれました。12時近かったからランチタイムかな?? 猛禽類も最後の最後には姿を現してくれて今回の探鳥会は終了。

家に帰ってから気がついたことなのですが、今年の7月に足環を付けたカルガモを酒匂川で放野していたので運がよければ出会っていたカモ?? 来年はセンターで放野した子たちが見られるといいなあ。(センターに来ないのが一番良いのだけれども…) 約2時間という短い時間でしたが36種類の鳥たちと出会うことができました。多くの水鳥や冬鳥に出会うことができよかったです。

～見聞きできた野鳥たち～

オナガガモ・カルガモ・コガモ・ヒドリガモ・マガモ・カワアイサ・カイツブリ・オオバン・カワウ・セグロカモメ・オオセグロカモメ・アオサギ・コサギ・ダイサギ・イソシギ・イカルチドリ、カワセミ・セグロセキレイ・ハクセキレイ・キセキレイ・トビ・チョウゲンボウ・ミサゴ・ジョウビタキ、ヒヨドリ・タヒバリ・スズメ・ホオジロ・キジバト・モズ・アオジ・カワラヒワ・ハシブトガラス・ハシボソガラス・ウグイス
【計36種類】



大掃除と野鳥観察会 報告

12月14日、自然環境保全センターにて毎年恒例、年末の傷病舎大掃除が行われました。ボランティアはいくつかの持ち場に分かれ作業です。日頃掃除することができないところ、ケージ上の落ち葉の片付けなども行いました。前日は風が吹いており気温も低かったため心配していましたが、青空のもと風もなく「掃除日和でよかったね」などと話をしながら掃除をしました。傷病舎もすっかり綺麗になり動物たちも気持ちよく過ごせるのではないのでしょうか。その後昼食会は豚汁がふるまわれました。また色々な方からの差し入れもあり豪華な昼食会となりました。「豚汁の具は何を入れるか?」という話題で盛り上がり、差し入れの美味しさに手が止まらないなど楽しいひとときとなりました。

午後からは保全センター周辺で野鳥観察会が行われました。最初は声は聞こえても姿は見えず、なかなか野鳥に出会うことができませんでした。野生の植物などを堪能しながら歩いているとハシボソガラスやヒヨドリなどを見ることが出来ました。また保全センター下の池ではカワセミを見ることもでき、最終的には17種類も確認することができました。年の瀬の忙しいなか、みなさんご参加ありがとうございました。



網戸も
ピカピカ

豚汁の
用意して
ます!!



清水小学校4年生に環境教育に行ってきました!! 報告

昨年、秋に予定されていた環境教育、何度も打ち合わせを重ね 準備万端、10/15 (予定日) を待つばかりだったのですが、大型台風26号接近により延期、年が明けての1/30に実施する事ができました。

盛りだくさんの内容でしたが、子どもたちはメモとるなど熱心に聞いてくれました。寸劇では、大人顔負けの演技で楽しそうに演じてくれていました。見ていた子どもたちも、より内容が伝わった事でしょう。最後の野生動物たちとのふれあいは、目の前で見れる野生動物に興味、いろいろな質問も飛び交い、時間が早く感じたくらいでした。自然や野生動物の存在が遠くなりつつある現代、少しでも身近に感じてくれたらと思う瞬間でした。

(ブログでもこの活動を一部紹介してあります、よかったら見て下さい)



コミズクのロン君



カモのジョナサン大変だ-体験寸劇

ヒヨドリ物語-体験寸劇

寸劇を見る子どもたち

保護原因を考える

野生に返れないタヌキとふれあい

第4回スキルアップ勉強会 報告

2月1日、今年度の最後となるスキルアップ勉強会が実施されました。まず自然環境保全センターのワーキングルームでパワーポイントを用いて鶴飼獣医師から「さし餌」の詳しい説明がありました。さし餌する動物について、強制給餌をする意味、動物の状態に合わせた餌の内容、強制給餌の手順や注意点などです。次に、別館に場所を移し、強制給餌の実習を行いました。協力してもらった動物は、サギやカモ、ハクビシンです。

サギやカモにチューブを使って胃まで給餌をしました。参加者は慣れないことなので戸惑いながらも熱心に取り組んでいました。ハクビシンでは、鼻のあたりに餌を置いてなめさせる、口の中の上あごに餌を置きなめさせる、シリンジを用いて犬歯と奥歯の間の隙間から給餌するなどを体験しました。

実習の後もたくさんの質問が出され内容の濃い研修会だったと思います。

スキルアップ勉強会は来年度にも計画していますので、ぜひ、皆様気軽にご参加下さい。



コサギのチューブフィーリング指導



ハクビシンの強制給餌中

羽根標本勉強会 報告

3月16日に羽根標本の勉強会を開催いたしました。教材に使う鳥はセンターに運ばれたものの手当のいかなく死んでしまった鳥を使っています。羽根の勉強をすると野外で羽根を拾ったり、他の動物に襲われて羽根だけが残されていた時など、鳥の種類や判別がつきやすくなります。また治療や保定時の注意点についても学ぶこともできます。参加者は7人で、ヒヨドリグループとムクドリグループに分かれて、それぞれスタッフが講師につき、他のスタッフはアシスタントとしてお手伝いに回ったりしました。初めての方もいて最初はこわごわだった人も最後の方はエイと気合を入れて抜いていました。次回も又参加したいとの声も多く、ただ鳥を見るだけでなく仕組みを知って勉強になったとの声もありました。また、骨格標本もやってほしいとの声も上がっています。



探鳥会



1/19 冬の野鳥
→早戸川林道

2/22 カモの仲間を求めて
→三段の滝、相模原沈殿池

お知らせ



横須賀市役所の広報4月号に「ヒナを誘拐しないで」のポスターが掲載されます。市役所庁舎内の展示コーナーにポスターが掲示される予定です。

オオコノハズク がやって来た！

冬になると神奈川県でも観察出来るようになるオオコノハズク。
年によっては一羽も来ない時もありますが、今年はこの3ヶ月で立て続けに5羽保護されました。
雪？寒さ？因果関係は不明ですが・・・誰か教えて～～。



1羽目

保護日:1月27日
保護場所:相模原市緑区
道路上を歩いている所を保護されました。
左翼を骨折していました。
今は翼を広げるリハビリもしています。

そして2羽目。
保護日:2月19日 保護場所:厚木市
道路上でうずくまっているところを保護されました。
右翼を骨折し、衰弱しきっており、2日後に残念ながら亡くなってしまいました。

2羽目

保護日:2月19日
保護場所:厚木市
網に絡まっていた所を保護されました。
両足に擦り傷があったものの、不自由は
なく飛行も問題ないので、すでに放野され
ました。

3羽目



4羽目

保護日:3月4日
保護場所:伊勢原市
道路上でぼっと立っている所を保護されま
した。骨折などはないのですが頭を打ったた
めか、すこしバランス感覚が悪くなっていたの
で、投薬をしながら様子を見ました。
その後だいぶ良くなりました。



これで終わりだと思っていたら・・・

3月9日 5羽目が保護されました。

保護場所:湯河原町

海岸近くの道路上に立っている所を保護。外傷等はありませんが、まずは暖かい場所で安静中。早く元気になってね。

5羽目

本格的な春も近いので、これで終わりになってほしいものです！！

そして放野！

(情報は、神奈川県自然環境保全センター提供)



3羽目

2月19日に保護された3羽目のオオコノハズク

放野日:3月11日

放野場所:厚木市

羽根に隠れていますが、C0の足環を付けています

3月4日に4羽目に保護されたオオコノハズク

放野日:3月31日

放野場所:伊勢原市

C2の足環をつけました。

保護場所の近くで放野しようと考えていたのですが、田んぼの中心でしたので近くの森に放しました。夕方6時頃 真っ暗な中で箱を開けてしばらくすると音も無く飛んで行きました。

4羽目



赤い足環をつけた野鳥を見かけたら、是非ご連絡ください。

情報お待ちしております！

(詳しくは”足環 Project 始動!!“のページをご覧ください)



-2013 年度活動報告・2014 年度活動予定(案)-

今年度の総会が5月に予定されています。会員の皆様にはこの会報誌の中で活動報告と活動予定を提案しますので、総会では活発に意見を述べていただき、この会の活動をますます発展させていければと考えています。

2013年度の活動予定にあった東京バードフェスティバルと厚木環境フェアは、企画が中止のため参加できませんでした。その他の予定の活動はおおむね実行できたと思っています。しかし、色々な活動における会員の参加がやや少なかったことを反省しています。そこで、2014年度には毎月第3日曜日を野生動物救護の会の活動日とすることにしました。会員の皆様も第3日曜日は、救護の会の活動があることを予定し積極的に参加していただきたいと思います。活動の前に事務局より参加を呼び掛けますので、よろしく願います。また、市民の方々に野生動物救護の現状や必要性を訴えるフェスティバルが少なくなっているため、新しいイベントへの参加を進めていきたいと考えています。

2013年度 NPO 法人野生動物救護の会 活動報告

1. 傷病鳥獣救護の直接的活動

傷病鳥獣の救護ボランティア	通年	自然環境保全センター
短期、長期の野生動物の飼養	通年	各自自宅
Mプロジェクト 猛禽類のリハビリ	通年	プロジェクト参加者自宅

2. 救護ボランティアを養成する活動

野生動物救護ボランティア講習会	6/2 6/16	自然環境保全センター
ボランティア講習会修了式	9/21	伊勢原市民文化会館

3. 主に会員を対象とした啓発活動

羽根標本等の作製	随時	自然環境保全センター
羽根標本作製勉強会	3/16	自然環境保全センター
特別講演会 鈴木茂也氏 「個体の死と個体群の維持～これから私にできることは」	6/30	自然環境保全センター
特別講演会 齋藤慶輔氏「野生動物救護と理念」	9/21	伊勢原市民文化会館
探鳥会 春の野鳥	5/26	八菅山いこいの森
カモの仲間を求めて①	12/7	酒匂川周辺
身近な野鳥	12/14	自然環境保全センター周辺
冬の野鳥	1/19	早戸川林道
カモの仲間を求めて②	2/22	三段の滝、相模原沈澱池
スキルアップ 第1回「ヒナの見分け方」	7/28	自然環境保全センター
勉強会 第2回「保定・搬送」	8/31	自然環境保全センター
第3回「エサの作り方・カロリー計算」	11/23	自然環境保全センター
第4回「さし餌・強制給餌」	2/1	自然環境保全センター

4. 主に市民を対象とした啓発活動

2013 動物フェスティバル in 厚木 展示参加	10/14	厚木市文化会館
秦野市民まつり展示参加	11/3	秦野市立運動公園
ジャパンバードフェスティバル 2013 展示参加	11/2～11/3	我孫子市手賀沼親水公園
東京農業大学で講演「野生動物救護とボランティア」	4/23	農大厚木キャンパス
環境教育 放課後教室	5/10	厚木市立相川小学校

厚木市立清水小学校自然教室にて環境教育	1/30	七沢自然ふれあいセンター
傷病舎案内 横浜市労働組合婦人部	5/19	自然環境保全センター
東京農業大学学生	8/26	自然環境保全センター
横浜市立三保小学校5年生174名	9/13	自然環境保全センター
中央動物専門学校動物看護研究科3年生	12/2	自然環境保全センター
小学生(4から6年生)	3/27	自然環境保全センター
第3回夏休み子ども体験教室「野生動物を学ぶ」	8/3	自然環境保全センター
第3回春休み子ども体験教室「わくわく野鳥観察会」	3/29	自然環境保全センター

5. 情報発信の活動

会報誌RUNNER VOL. 16発行	4/6	厚木市サポートセンター
会報誌RUNNER VOL. 17発行	9/24	厚木市サポートセンター
会報誌RUNNER VOL. 18発行	12/21	厚木市サポートセンター
ホームページの運営	通年	野生動物救護の会事務局
会員への情報メール発信	通年	野生動物救護の会事務局

6. 調査・観察的な活動

秦野市立図書館衝突調査	毎月最終金曜日と 7/15の13回	秦野市立図書館
樹洞性哺乳類・鳥類調査	通年	自然環境保全センター

7. 関係団体との協働的活動

丹沢大山ボランティアネットワーク総会出席	4/13	自然環境保全センター
第一回傷病鳥獣保護連絡協議会	12/3	横浜

8. 運営的活動

NPO法人 野生動物救護の会定期総会	6/30	自然環境保全センター
救護の会の事務的管理(名簿・会費・物品など)	通年	野生動物救護の会事務局
野生動物救護の会の理事会・スタッフ会議	随時	自然環境保全センター
傷病舎大掃除及び豚汁大会	12/14	自然環境保全センター

野生動物救護の会に関連する出来事

野生動物救護の会 「ハーモナイズ賞」受賞 10/14 動物フェスティバルにて	厚木市文化会館
コトレシピ取材 2/24	自然環境保全センター

2014年度 NPO 法人野生動物救護の会 活動予定(案)

1. 傷病鳥獣救護の直接的活動

傷病鳥獣の救護ボランティア	通年	自然環境保全センター	
短期、長期の野生動物の飼養	通年	各自自宅	
Mプロジェクト 猛禽類のリハビリ	通年	プロジェクト参加者自宅	

2. 救護ボランティアを養成する活動

野生動物救護ボランティア講習会	6/21 6/22	自然環境保全センター	
-----------------	-----------	------------	--

ボランティア講習会修了式	年1回		
--------------	-----	--	--

3. 主に会員を対象とした啓発活動

探鳥会	年数回	近隣各所	
講演会	1～2回	自然環境保全センター	
公開放野への協力	随時	近隣各所	
スキルアップ勉強会への協力	年数回	自然環境保全センター	
羽根標本等の標本作成	年数回	自然環境保全センター	

4. 主に市民を対象とした啓発活動

各種イベントへの参加 (ジャパンボードフェスティバル、 動物フェスティバル、秦野市民まつり、 その他のイベント)	各期日	各イベント会場	
各種要請による講演	随時	各会場	
「傷つく野鳥たち」の啓発活動	5/6	マークイズみなとみらい5F	
環境教育 学校からの要請による環境教育 夏休み子ども体験教室(野生動物を学ぶ) 春休み子ども体験教室(わくわく野鳥探検 隊)	随時 夏休み 春休み	各学校等 自然環境保全センター 自然環境保全センター	
羽根標本や誤認保護などの企画展示	7月～9月	自然環境保全センター	
傷病舎見学の案内	随時	自然環境保全センター	
絵本製作	未定	県内動物病院に配布予定	

5. 情報発信の活動

会報誌RUNNERの発行	年数回	厚木市サポートセンター	
ホームページの運営 会員への情報発信	通年	野生動物救護の会事務局	

6. 調査・観察的な活動

秦野市立図書館衝突調査	月1回程度	秦野市立図書館	
樹洞性哺乳類・鳥類調査	通年	自然環境保全センター	
足環プロジェクト	通年	自然環境保全センター	

7. 関係団体との協働的活動

丹沢大山ボランティアネットワーク総会	4月	自然環境保全センター	
傷病鳥獣保護連絡協議会	未定	未定	

8. 運営的活動

NPO法人 野生動物救護の会定期総会	5/17	自然環境保全センター	
救護の会の事務的管理(名簿・会費・物品など)	通年	野生動物救護の会事務局	
野生動物救護の会の理事会・スタッフ会議	随時	自然環境保全センター	
傷病舎大掃除及び豚汁大会	12月	自然環境保全センター	

足環Project 始動!!

足環プロジェクトとは

足環を付けた放鳥個体が野外で発見もしくは再捕獲等されることでその個体の生存年数、移動範囲・距離などを知ることができます。詳しくは「RUNNER」vol.16を御覧下さい。

2013年12月～足環を付けて放された鳥たち



B6 トビ

足環番号	種類	放鳥月	放鳥場所
B6	トビ	12月	湯河原町
B7	トビ	12月	藤沢市
B8	トビ	12月	小田原市
B9	オオタカ	2月	南足柄市
C1	トビ	2月	厚木市
C0	オオコノハズク	3月	厚木市
C4	オオセグロカモメ	3月	小田原市酒匂川



C4 オオセグロカモメ



B7 トビ



B8 トビ



B9 オオタカ



C1 トビ



C0 オオコノハズク

左足に赤い足環をつけた野鳥を見かけたら、右記まで連絡して下さい。

NPO法人 野生動物救護の会 TEL. 0463-75-1830
 e-mail: wildrelief@kanagawa-choju.sakura.ne.jp
 神奈川県自然環境保全センター 自然保護課 TEL. 046-248-6682 (連絡先が変わりました)
 鳥の詳細情報はこちらに載せています。
 ブログURL: <http://blog.goo.ne.jp/yaseidobutsu-kyugo>
 この足環は救護の会独自のものです。

***** 今後放野予定の動物達 *****



チョウゲンボウ

保護日: 2013年12月9日
 幼羽が残る若鳥
 保護場所: 小田原市道路上
 保護原因: 粘着剤+カラス



オオタカ

保護日: 2013年6月11日 幼羽が残る若鳥
 保護場所: 横須賀市
 保護原因: 金網に絡まる
 *当会員の中原さんがリハビリの為に預かり中のオオタカ。換羽(全身の羽根が抜けかわる事)後、秋からリハビリの予定。



ハクセキレイ

保護日: 2014年2月9日
 成鳥
 保護場所: 小田原市建物内
 保護原因: 粘着剤

番外編ですが...



タヌキ

保護日: 2013年9月20日
 亜成獣
 保護場所: 相模原市
 保護原因: カイセン



タヌキ

保護日: 2013年11月24日
 成獣
 保護場所: 平塚市
 保護原因: カイセン

インフォメーション

イベント

◆「傷つく野鳥たち」をテーマにイベントを行います。

▽日時:5月6日(火)10:00~

▽場所:MARK IS みなとみらい 5階の屋上庭園「みんなの庭」

☆野生動物を題材にしたゲームやワークショップ、レクチャーなどを行い、傷つく野生動物の現状を一般の方々に知ってもらいます。一緒に参加してくれるボランティアスタッフも募集中!

◆「傷ついた野生動物たち」の写真パネル展示を同じ会場で行います。

▽日時:5月3日(土)~6日(日)

総会・懇親会

◆第7回 NPO 法人 野生動物救護の会 定期総会

▽日時:5月17日(土)10:30~11:00 ▽場所:自然環境保全センター レクチャールーム

◆懇親会 バーベキュー

▽日時:5月17日(土)12:00~ ▽場所:七沢森林公園

☆総会后、場所を移動してバーベキューをしながら皆さんで楽しみましょう♪

バーベキューだけの参加ももちろん大歓迎です!

講習会

◆野生動物救護ボランティア講習会

▽日時:6/21(土)または22(日) ▽場所:自然環境保全センター レクチャールーム

☆毎年恒例!今年も新たに野生動物救護ボランティアさんを募集し、野生動物救護に関する知識を学んでいただきます。1日の講習会を2回行います。

裏方ボランティアスタッフも募集中です!

衝突調査

◆秦野市立図書館衝突調査

▽日時 毎月最終金曜日 →今後の調査日は5月30日、6月27日、7月25日

▽場所 秦野市立図書館

☆野生動物救護の会「バードストライク研究会」では窓ガラスへの野鳥の衝突調査を一緒にしてくれる方を随時募集しています。興味のある方は事務局までご連絡を!

“救護の会 ブログ” 始まっています!

◆野生動物救護の会の活動の様子を楽しくご紹介!

日常のボランティア活動や、猛禽類の訓練風景(M project)、各種イベントのお知らせや報告などなど、随時更新しています。救護の会 HP トップページの

「救護の会ブログ始めました!」のバナーをクリックしてご覧下さい♪

アドレスはコチラ→ <http://kanagawa-choju.sakura.ne.jp/index.html>



* 詳細は当会ホームページをご覧ください *

☆☆会員へのお誘い☆☆

当会は、ボランティアスタッフの協力と設営趣旨にご賛同いただきました皆様方の寄付によって運営されております。

私たちの活動を支えてくださる賛助会員も同時に募集しています。

★一般会員:どなたでもご参加いただけます(年会費 2,000 円)

★学生会員:学生の方(年会費 1,000 円)

★賛助会員:当会の活動にご賛同いただき寄付をしていただいた方

年会費:法人一口 5,000 円 個人一口 3,000 円 一口以上

振
込
先

ゆうちょ銀行振替口座 : 00270-0-47040

名義 : 特定非営利活動法人 野生動物救護の会

発行月:2014年4月 発行:特定非営利活動法人 野生動物救護の会 電話:0463-75-1830
〒259-1306 神奈川県秦野市戸川1086番地の4 ホームページ:<http://kanagawa-choju.sakura.ne.jp/>
編集者 表紙:平沼亜矢子 今日のRUNNER:松本卓巳 活動の現場:平沼亜矢子
オオコノハズクがやって来た!:渡辺優子
2013年活動報告・2014年活動予定(案):佐藤幸太郎
足環プロジェクト始動!!:渡辺優子(レイアウト:平沼亜矢子) インフォメーション:神崎さつき